

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY 名古屋 ちくさ

題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 渡邊 源 市
幹事 鈴 木 聖 三
広報・会報委員長 小 林 英 毅

No. 23

人類に奉仕するロータリー
ROTARY SERVING HUMANITY

2016～2017年度

RI会長
ジョンF.ジャーム

今日の例会

第1626回 平成29年 1月 24日 (火)
節分例会
城山八幡宮 17:30～

先回の例会

第1625回 平成29年 1月 17日 (火) 晴
卓話 『細川家 16代当主・細川護立の慧眼—
「美術の殿様」が集めた珠玉の名画』
名古屋市美術館 学芸課 保崎 裕徳様

◆奉仕の理想

◆ビジター紹介

◆ゲスト紹介

名古屋市美術館 学芸課 保崎 裕徳様

◆出席報告

会 員 36 (33) 名 出 席 28 名
出席率 84.85 %
前々回 12/13 (修正出席率) 93.94 %

鈴木幹事報告

渡邊会長のご尊父様が先週1月14日ご逝去されました。謹んでご冥福お祈り申し上げます。 黙禱

- 1) 次週24日は節分例会で17時30分より城山八幡宮で開催致します。ご出席の方は時間厳守をお願い致します。昼間の例会はございませんのでお間違いなくお願い致します
- 2) ロータリーの友1月号が届いております。お帰りにお持ち下さい

渡邊会長挨拶



ゲストの名古屋市美術館、保崎裕徳様、本日の卓話楽しみにしています。
さて、さる1月14日早朝に父が他界しました。82歳でした。特発性間質性肺炎という難病を患い、闘病生活を続けていました。食事は口から摂れず、胃にチューブを差し込み、

酸素吸入をしないと生きられない状況の中肺炎を起こし、病院に救急搬送されました。担当の先生は父を見て開口一番「お父さんを延命しますか」と質問してきました。状態が非常に悪く治療をしても完治を期待できないことはわかっていましたが、身内を思う気持ちが医師という職業よりも勝り、集中治療に入りました。一時的に父は一命をとりとめ、家族と会話ができるようになりました。ただ点滴のみの栄養補給で、徐々に弱っていき体力を使い切って天へ行ってしまいました。
私も在宅医療をしており、医師の立場から患者さんの家族に「患者さんに負担を強いるような延命処置を思いとどまるよう」具申することがたびたびあります。家族と意見のずれの違いでトラブルになることも経験します。今回の件は、家族の立場と医療提供側の立場で考え方が違い、どれが正しいとは言えない状況の中で家族は難しい選択を迫られているのだと実感させられました。医療界にいきるものとして、問い直さねばならない課題だと感じました。

卓話 『細川家 16代当主・細川護立の慧眼—
「美術の殿様」が集めた珠玉の名画』

名古屋市美術館 学芸員
保崎 裕徳 様



ただいま名古屋市美術館では、「永青文庫 日本画の名品」という展覧会を開催しています。永青文庫は、旧熊本藩主・細川家に伝わる文化財の散逸を防ぐために設立された財団法人です。

永青文庫の所蔵品は武具、絵画、茶道具、能道具、歴史的な文書など多岐にわたっており、その総数は約 94,000点、その中には国宝 8 点、重要文化財 32 点が含まれています。東京・目白台に建つ細川侯爵家のかつての家政所(事務所)が美術館に改装されており、ここで所蔵品の一部が順次公開されています。

肥後細川家 16代当主の細川護立(もりたつ、1883-1970)は、優れた審美眼を持った美術収集家であり、一代にして国内屈指の近代日本画(明治から昭和前期にかけての日本画)と、禅画(江戸時代に臨済宗の僧侶が描いた書

画)のコレクションを築き上げました。また、日本画家との幅の広い交流があり、その人脈も買われて文化財保護委員や国立博物館顧問など、文化行政の要職を歴任しました。いつしか譲立は「美術の殿様」と呼ばれるようになります。

その「殿様」が集めた名画 57 点が、2 月 26 日まで名古屋美術館で公開されています(途中展示替えあり)。近代日本画で必見の作品は、早世した天才・菱田春草(1874-1911)が遺した屏風絵《落葉》(2 月 5 日まで公開)と、掛軸の《黒き猫》(2 月 7 日から公開)の 2 点で、いずれも国指定の重要文化財に認定されています。

《落葉》は、春草の自宅近くの代々木の雑木林を描いた作品です。木々が延々と続く静寂の空間を表現したもので、穏やかな色彩、木々の律動的な配置、愛らしい野鳥の描写など見どころの尽きない作品です。

《黒き猫》は、黄葉する柏の木の幹にたたずむ黒猫を描いた作品です。猫の毛並みを、線を使わずに墨のにじみだけで表現するという高い技巧が見どころで、思わず撫でてみたくなるほどの柔らかさを表現しています。

現在、「ゆるキャラ」が日本中でブームとなっていますが、江戸時代に活躍した禅僧である白隠(1685-1768)と仙厓(1750-1837)が描いた禅画は、これを 180 年以上も前に先取りしていたかのような親しみやすさがあります。永青文庫は白隠の作品を 300 点、仙厓の作品を 100 点以上所有しており、これは日本最大級の禅画コレクションと言える規模です。博多の聖福寺というお寺で長年住職を務めていた仙厓和尚は、「博多の仙厓さん」という呼び名で親しまれていますが、実は岐阜県関市の出身だということはあまり知られていません。仙厓は 63 歳で隠居生活を始めてから禅画をたくさん描くようになり、73 歳で「自分の絵にはルールがない」と、描きたいものを描きたいように描くことを宣言しました。とてもおおらかな筆のはこびで、動物やこどもなどを可愛らしく描いているのが特徴です。この展覧会をきっかけに、ぜひ多くの方に東海地方出身の白隠(静岡県出身)と仙厓の禅画を知っていただき、この地域での人気が一層高まってほしいと願っています。



1 月は職業奉仕月間です

《ガバナー月信 1 月号より》

新年のご挨拶

ガバナーエレクト 神野 重行

新年あけましておめでとうございます。

今年は酉年。昔から「申酉騒ぐ」と言われていますが、昨年の申年は確かに世界各国で思いがけない、思いもよらぬ出来事が続きました。ある意味では歴史に残る年だったようにも思います。これはロータリーの世界でも同じことが言える一年でした。

4 月の規定審議会で従前の規定を大きく変える決定がされ、各クラブでも変更規定の理解と対応に、今までにない努力を積まれたことと思います。しかしながらロータリーを取り巻く潮目が変わった今、我々ロータリアンが今までと同じ気持ちでロータリー活動をしているのは、世間からガラパゴスと言われる存在になることは間違いないでしょう。そんな潮目、流れが変わったと言われる今年度、服部ガバナーは当地区に新しい息吹を吹き込まれました。

私は年始早々、国際協議会でイアン H.S. ライズリー RI 会長エレクトのテーマを聞いて、次年度地区方針を立てさせていただきます。ロータリーの理念は変わりませんが、当地区の発展のために精一杯頑張りますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

今年一年が会員各位にとって、充実した佳き年になりますよう祈念して、新年の挨拶とさせていただきます

ニコボックス

小林 英毅

本日は囲碁会です。4F 桐の間でお待ちします

小山 雅弘

名古屋美術館 保崎学芸員に卓話をさせていただきます。よろしく

渡邊 源市

1 月 14 日に父が他界しました。母の希望で、近親者のみで葬儀をすませました。生前に賜りました御高誼に感謝いたします

福井 浩道

長谷川 亨

林 永芳

堀江 宏輝

池森 由幸

伊藤 健文

加藤 重雄

河合 隆史

牧野登志子

松岡多加倫

松浦 宏紀

三好 親

太田 和孝

大谷 恩

佐野 寛

鈴木 理之

鈴木 聖三

舍人 経昭

碓氷 美佳

和田 正敏

名古屋美術館 学芸員 保崎裕徳様

本日の卓話よろしくお願ひ致します

23 件

合計 57,000 円

次回例会

平成 29 年

1 月 31 日(火)

12:30

3 階 錦の間

友愛の日